

平成31年度 球美中学校各教科シラバス

教科名	中学1年 音楽科
教科担当	金城 昂也
教科書名	中学生の音楽1、中学生の器楽（教育芸術社）
副教材名	音楽のハーモニー 1

はじめに：これから始まる学習に積極的に意欲を持ち、自ら学ぶ力を育成する（本校教育目標：知の側面）ことをめざし、教科ガイダンスを実施します。この1年間の学習について教科シラバスを示して説明します

21世紀は、知的基盤社会といわれています。球美中学生のみなさんがこの社会で、①生きていくため、②あこがれの職業につくため、③夢を実現するためには、中学校の各教科の授業の中で身につける「自ら学ぶ力」が、みなさんの将来に大きな力となって役立ちます。

球美中学校の各教科担当（教科の先生）は、みなさんに、「自ら学ぶ力」が身に付くよう、「今日の目標 → 目標を達成するための授業・活動 → 今日の目標が達成できたかまとめ・振り返り」による「わかる授業」を学校全体で実践します。

生徒の皆さんは、各教科の授業内容が実生活につながっていることを実感し、各教科が示す「基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得」できるよう努力してください。さらに、「各教科で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を生かす活用する活動」に積極的に取り組んで下さい。この地道な努力が、「なりたい自分」から「なれる自分」の過程に好影響をもたらします。

教科の学びの習得は、あなたの夢をひろげます。ともに頑張りましょう!!

1 音楽科の学習について

学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○音楽を愛好する心情を育てる。 ○音楽に対する感性を豊かにし、音楽の基礎的な能力を伸ばす。 ○多様な音楽文化についての理解を深める。 ○豊かな情操を養う。
授業のすすめ方	<ul style="list-style-type: none"> ○音楽は「歌唱（表現）」「器楽（表現）」「鑑賞」「創作」の4つを学ぶ。 ○どの分野においても、「自分の考え（思考）」をもとにして音楽表現を考えていく。思考・判断し、表現につなげる取り組みを行う。 ○ペアやグループ活動を取り入れ、他者と音楽を共有する時間を設ける。
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ○音楽の基礎基本を定着できるようにすること。 ○自分の考えを大事にしながら、音楽的要素と関連させて考えること。 ○感じ取ったことを恥ずかしくせずに、きちんと表現できるようにすること。 ○真剣に取り組むこと。

2 評価について

評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ○音楽の評価の観点は4つ 「関心・意欲・態度」「音楽表現の創意工夫」「音楽表現の技能」「鑑賞」 ○定期テストだけでなく、授業態度や提出物、実技テストなども含めて総合的に評価する。 ○実技テストは、音楽的な技能や表現の工夫に重点をおいて評価する。
定期テスト	<ul style="list-style-type: none"> ○定期テストは全3回（各学期1回） ○授業で取り組んだ題材から出題（音楽基礎、曲の構成、曲の真意など） ○授業内でやり取りした事からも出題 ○音楽用語を使って、曲について自分の考えを記述する問題もあり （どのように表現したらよいか、曲に合った表現などを考えながら授業を受けること） ○音楽基礎

3 年間指導計画

月	主な学習内容および項目	教材・教具等
4月	オリエンテーション、「校歌」(実技テスト)	
5月	歌唱「主は冷たい土の中に」	ワーク
6月	鑑賞「春」 器楽「アルトリコーダー」 期末テスト	リコーダー 期末テスト
7月	器楽「アルトリコーダー」(実技テスト) 鑑賞「合唱コンクール曲選曲」	リコーダー
8月	歌唱「合唱コンクール曲取り組み」	
9月	歌唱「合唱コンクールの取り組み」 「赤とんぼ」	
10月	歌唱「赤とんぼ」 「合唱コンクールの取り組み」	
11月	歌唱「合唱コンクールの取り組み」(実技テスト) 鑑賞「魔王」 期末テスト	期末テスト
12月	鑑賞「日本の伝統音楽」事、尺八	
1月	創作「リズム創作」	
2月	歌唱「卒業式への取り組み」 器楽「リコーダー」(実技テスト) 学年末テスト	リコーダー
3月	鑑賞「日本の郷土芸能」「世界の民族音楽」	

4 授業をうける心構え

- 球美中学校 授業の約束「スクール7」を重点にする
 - ・チャイムが鳴る1分前までに業の準備をして着席し、立腰・黙想を行う。
 - ・質問があるときや問いに答えるときは、黙って右手を真っ直ぐ挙げる。(無言挙手) など
- 音楽に興味を持ち、楽しく取り組むようにすること。
- 歌唱や器楽においても真剣に取り組む、自己表現を高める努力を重ねること。
- ペアやグループ学習では積極的に意見交換をして、音楽的表現力を高めること。

5 家庭学習のアドバイス

- 定期テスト前は、授業のプリントやワークをしっかりと取り組むこと。
- 実技テスト前は、リコーダーを持ち帰り自主的に練習してもよい。
- 長期休暇の際は、様々な音楽に触れ、音楽的知見を養うこと。

平成31年度 球美中学校各教科シラバス

教科名	中学2年 音楽科
教科担当	金城 昂也
教科書名	中学生の音楽2・3上、中学生の器楽（教育芸術社）
副教材名	音楽のハーモニー 2・3年上

はじめに：これから始まる学習に積極的に意欲を持ち、自ら学ぶ力を育成する（本校教育目標：知の側面）ことをめざし、教科ガイダンスを実施します。この1年間の学習について教科シラバスを示して説明します

21世紀は、知的基盤社会といわれています。球美中学生のみなさんがこの社会で、①生きていくため、②あこがれの職業につくため、③夢を実現するためには、中学校の各教科の授業の中で身につける「自ら学ぶ力」が、みなさんの将来に大きな力となって役立ちます。
球美中学校の各教科担当（教科の先生）は、みなさんに、「自ら学ぶ力」が身に付くよう、「今日の目標 → 目標を達成するための授業・活動 → 今日の目標が達成できたかまとめ・振り返り」による「わかる授業」を学校全体で実践します。
生徒の皆さんは、各教科の授業内容が実生活がつながっていることを実感し、各教科が示す「基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得」できるよう努力してください。さらに、「各教科で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を生かす活用する活動」に積極的に取り組んで下さい。この地道な努力が、「なりたい自分」から「なれる自分」の過程に好影響をもたらします。
教科の学びの習得は、あなたの夢をひろげます。ともに頑張りましょう!!

1 音楽科の学習について

学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○音楽を愛好する心情を育てる。 ○音楽に対する感性を豊かにし、音楽の基礎的な能力を伸ばす。 ○多様な音楽文化についての理解を深める。 ○豊かな情操を養う。
授業のすすめ方	<ul style="list-style-type: none"> ○音楽は「歌唱（表現）」「器楽（表現）」「鑑賞」「創作」の4つを学ぶ。 ○どの分野においても、「自分の考え（思考）」をもとにして音楽表現を考えていく。思考・判断し、表現につなげる取り組みを行う。 ○ペアやグループ活動を取り入れ、他者と音楽を共有する時間を設ける。
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ○音楽の基礎基本を定着できるようにすること。 ○自分の考えを大事にしながら、音楽的要素と関連させて考えること。 ○感じ取ったことを恥ずかしがらずに、きちんと表現できるようにすること。 ○真剣に取り組むこと。

2 評価について

評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ○音楽の評価の観点は4つ 「関心・意欲・態度」「音楽表現の創意工夫」「音楽表現の技能」「鑑賞」 ○定期テストだけでなく、授業態度や提出物、実技テストなども含めて総合的に評価する。 ○実技テストは、音楽的な技能や表現の工夫に重点をおいて評価する。
定期テスト	<ul style="list-style-type: none"> ○定期テストは全3回（各学期1回） ○授業で取り組んだ題材から出題（音楽基礎、曲の構成、曲の真意など） ○授業内でやり取りした事からも出題 ○音楽用語を使って、曲について自分の考えを記述する問題もあり （どのように表現したらよいのか、曲に合った表現などを考えながら授業を受けること） ○音楽基礎

3 年間指導計画

月	主な学習内容および項目	教材・教具等
4月	オリエンテーション、「夢の世界を」(実技テスト)	
5月	歌唱「夏の思い出」	ワーク
6月	鑑賞「フーガト短調」 器楽「アルトリコーダー」 期末テスト	リコーダー 期末テスト
7月	器楽「アルトリコーダー」(実技テスト) 鑑賞「合唱コンクール曲選曲」	リコーダー
8月	歌唱「合唱コンクール曲取り組み」	
9月	歌唱「合唱コンクールの取り組み」 「サンタルチア」	
10月	歌唱「荒城の月」 「合唱コンクールの取り組み」	
11月	歌唱「合唱コンクールの取り組み」(実技テスト) 鑑賞「オペラ」 期末テスト	期末テスト
12月	鑑賞「交響曲第5番」	
1月	創作「リズム創作」	
2月	歌唱「卒業式への取り組み」 器楽「リコーダー」(実技テスト) 学年末テスト	リコーダー
3月	鑑賞「日本の郷土芸能」「世界の民族音楽」	

4 授業をうける心構え

- 球美中学校 授業の約束「スクール7」を重点にする
 - ・チャイムが鳴る1分前までに業の準備をして着席し、立腰・黙想を行う。
 - ・質問があるときや問いに答えるときは、黙って右手を真っ直ぐ挙げる。(無言挙手) など
- 音楽に興味を持ち、楽しく取り組むようにすること。
- 歌唱や器楽においても真剣に取り組む、自己表現を高める努力を重ねること。
- ペアやグループ学習では積極的に意見交換をして、音楽的表現力を高めること。

5 家庭学習のアドバイス

- 定期テスト前は、授業のプリントやワークをしっかり取り組むこと。
- 実技テスト前は、リコーダーを持ち帰り自主的に練習してもよい。
- 長期休暇の際は、様々な音楽に触れ、音楽的知見を養うこと。

平成31年度 球美中学校各教科シラバス

教科名	中学3年 音楽科
教科担当	金城 昂也
教科書名	中学生の音楽2・3下、中学生の器楽（教育芸術社）
副教材名	音楽のハーモニー 2・3年下

はじめに：これから始まる学習に積極的に意欲を持ち、自ら学ぶ力を育成する（本校教育目標：知の側面）ことをめざし、教科ガイダンスを実施します。この1年間の学習について教科シラバスを示して説明します

21世紀は、知的基盤社会といわれています。球美中生徒のみなさんがこの社会で、①生きていくため、②あこがれの職業につくため、③夢を実現するためには、中学校の各教科の授業の中で身につける「自ら学ぶ力」が、みなさんの将来に大きな力となって役立ちます。
 球美中学校の各教科担当（教科の先生）は、みなさんに、「自ら学ぶ力」が身に付くよう、「今日の目標 → 目標を達成するための授業・活動 → 今日の目標が達成できたかまとめ・振り返り」による「わかる授業」を学校全体で実践します。
 生徒の皆さんは、各教科の授業内容が実生活がつながっていることを実感し、各教科が示す「基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得」できるよう努力してください。さらに、「各教科で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を生かす活用する活動」に積極的に取り組んで下さい。この地道な努力が、「なりたい自分」から「なれる自分」の過程に好影響をもたらします。
 教科の学びの習得は、あなたの夢をひろげます。ともに頑張りましょう!!

1 音楽科の学習について

学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○音楽を愛好する心情を育てる。 ○音楽に対する感性を豊かにし、音楽の基礎的な能力を伸ばす。 ○多様な音楽文化についての理解を深める。 ○豊かな情操を養う。
授業のすすめ方	<ul style="list-style-type: none"> ○音楽は「歌唱（表現）」「器楽（表現）」「鑑賞」「創作」の4つを学ぶ。 ○どの分野においても、「自分の考え（思考）」をもとにして音楽表現を考えていく。思考・判断し、表現につなげる取り組みを行う。 ○ペアやグループ活動を取り入れ、他者と音楽を共有する時間を設ける。
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ○音楽の基礎基本を定着できるようにすること。 ○自分の考えを大事にしながら、音楽的要素と関連させて考えること。 ○感じ取ったことを恥ずかしがらずに、きちんと表現できるようにすること。 ○真剣に取り組むこと。

2 評価について

評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ○音楽の評価の観点4つ 「関心・意欲・態度」「音楽表現の創意工夫」「音楽表現の技能」「鑑賞」 ○定期テストだけでなく、授業態度や提出物、実技テストなども含めて総合的に評価する。 ○実技テストは、音楽的な技能や表現の工夫に重点をおいて評価する。
定期テスト	<ul style="list-style-type: none"> ○定期テストは全3回（各学期1回） ○授業で取り組んだ題材から出題（音楽基礎、曲の構成、曲の真意など） ○授業内でやり取りした事からも出題 ○音楽用語を使って、曲について自分の考えを記述する問題もあり （どのように表現したらよいか、曲に合った表現などを考えながら授業を受けること） ○音楽基礎

3 年間指導計画

月	主な学習内容および項目	教材・教具等
4月	オリエンテーション、「夢の世界を」(実技テスト)	
5月	歌唱「花」	ワーク
6月	鑑賞「展覧会の絵」 器楽「アルトリコーダー」 期末テスト	リコーダー 期末テスト
7月	器楽「アルトリコーダー」(実技テスト) 鑑賞「合唱コンクール曲選曲」	リコーダー
8月	歌唱「合唱コンクール曲取り組み」	
9月	歌唱「合唱コンクールの取り組み」 「帰れソレントへ」	
10月	歌唱「花の町」 「合唱コンクールの取り組み」	
11月	歌唱「合唱コンクールの取り組み」(実技テスト) 鑑賞「フルタバ」 期末テスト	期末テスト
12月	鑑賞「雅楽」	
1月	創作「リズム創作」	
2月	歌唱「卒業式への取り組み」 器楽「リコーダー」(実技テスト) 学年末テスト	リコーダー
3月	鑑賞「日本の郷土芸能」「世界の民族音楽」	

4 授業をうける心構え

- 球美中学校 授業の約束「スクール7」を重点にする
 - ・チャイムが鳴る1分前までに業の準備をして着席し、立腰・黙想を行う。
 - ・質問があるときや問いに答えるときは、黙って右手を真っ直ぐ挙げる。(無言挙手) など
- 音楽に興味を持ち、楽しく取り組むようにすること。
- 歌唱や器楽においても真剣に取り組む、自己表現を高める努力を重ねること。
- ペアやグループ学習では積極的に意見交換をして、音楽的表現力を高めること。

5 家庭学習のアドバイス

- 定期テスト前は、授業のプリントやワークをしっかりと取り組むこと。
- 実技テスト前は、リコーダーを持ち帰り自主的に練習してもよい。
- 長期休暇の際は、様々な音楽に触れ、音楽的知見を養うこと。